

「高知市長浜・御畳瀬・浦戸地域振興計画」の総括と 令和7年度以降の長浜・御畳瀬・浦戸地域の振興について

資料6

(1) 長浜・御畳瀬・浦戸地域振興計画の概要

(計画期間：2020年度～2024年度)

長浜・御畳瀬・浦戸地域の人口減少への対応と地域振興による地方創生に向けたまちづくりを、市民と行政の協働のもと、進めていくことを目的に、令和2年3月に「長浜・御畳瀬・浦戸地域振興計画」を策定。

対象地域

長浜※・御畳瀬・浦戸地域（長浜・浦戸小学校区）

(※) 瀬戸、横浜、横浜新町、長浜蒔絵台を除く長浜エリア

地域の特性

- 長浜地区（対象地域）では、1990（平成2）年をピークに人口が減少傾向。
- 御畳瀬地区・浦戸地区は、1985年（昭和60年）の半数以下にまで減少。
- 2000年（平成12年）→2015（平成27年）の期間で、特に御畳瀬・浦戸地域は就業者が大幅に減少。

将来像

歴史や風土を活かし、住む人・訪れる人に笑顔があふれるまち

地区別

長浜地区
御畳瀬地区
浦戸地区

歴史と文化が人をつなぐまち長浜
愛されたい、潮香るまち御畳瀬
波の音と笑い声が聞こえるまち浦戸

基本方針

基本方針1

自然の魅力を活かした
にぎわいあふれるまちづくり

- ・地域の「賑」わいあふれる企画づくり
- ・地域の「食」を活かした産業の活性化
- ・地域を「巡」り魅力を知ってもらう
- ・にぎわいと交流の「場」づくり

基本方針2

歴史と文化を守り未来
につなぐまちづくり

- ・地域の「賑」わいあふれる企画づくり
- ・地域を「巡」り魅力を知ってもらう
- ・歴史と文化を「伝」え、次代につなぐ

基本方針3

子どもの笑顔あふれる
誰もがいきいきと暮らせる
まちづくり

- ・地域の「賑」わいあふれる企画づくり
- ・にぎわいと交流の「場」づくり
- ・地域の愛着を「育」むひとづくり

方策・事業

賑

地域の「賑」わいあふれる企画づくり

地域にある歴史・文化、伝統、自然などの資源を活用し、イベントの開催などPRを行い、地域のにぎわいを創出する。



食

地域の「食」を活かした産業の活性化

魚、てんぷら、さつまいもなどの地元食材などの活用により、地域産業の掘り起こし、活性化を図る。



巡

地域を「巡」り魅力を知ってもらう

地域を周遊してもらうことで、魅力を再発見し、地域に訪れる人の増加につなげる。



場

にぎわいと交流の「場」づくり

地域住民が集い、交流が図れる場、地域の観光資源として、観光客が訪れ、にぎわいと交流が生まれる場づくりを進める。



伝

歴史と文化を「伝」え、次代につなぐ

特色ある伝統行事やお祭りを若者に伝え、次世代に受け継ぐとともに、名所や史跡など地域の魅力を再認識し、郷土愛の醸成につなげる。



育

地域の愛着を「育」むひとづくり

地域と保小中高大等の連携により、地域に愛着を持った将来を担う人材育成と若者目線による地域のファンを増やす。



(2) 計画に基づく地域振興に向けた主な取組

令和2年度

計画の認知度・理解度向上

- 情報発信の推進 **販**
 - ・かわら版発行・広報ボランティア導入
- 地域活性推進課の新設
 - ・振興計画を推進するための部署を新設
- 地域づくりの担い手発掘 **販場**
 - ・こうちみませ楽舎プレ開校（2教室）
- 地域協働・交流人口の拡大 **販**
 - ・「こじゃんと！ゆり海道」の開催（約1,500人）
- 事業者ヒアリング
 - ・小売業・飲食業（約50店舗）から現状・活性化へのニーズをヒアリング

令和3年度

人材・事業の掘り起こし

- 情報発信の推進 **販**
 - ・かわら版発行・広報ボランティアとの連携・SNS（LINE・Instagram）の開設
- 地域づくりの担い手育成、事業の検討・実施 **販巡食場**
 - ・こうちみませ楽舎の本格開校（3教室）（テーマは振興計画に沿ったもの）
 - ・地域おこし協力隊の募集
 - ・地域活性化センターの伴走支援
- 交流人口・関係人口の拡大 **育販**
 - ・大学連携（県立大学生延べ49人を受入）
 - ・こじゃんとゆり海道は開催見送り
- 地域との情報交換・方向性の確認
 - ・振興計画を推進するために、地域との情報交換や今後の方向性について協議

令和4年度

人材育成・地域おこし

- 情報発信 **販**
 - ・里海かわら版発行・広報ボランティアとの連携・SNS（Instagram・X(旧ツイッター)・note・LINE）による発信
- 地域づくり担い手育成 **販場巡**
 - ・【人材掘り起こし】こうちみませ楽舎「通常教室」（1教室）の開校
 - ・【人材育成】プレミアムクラスの開校
- 交流人口・関係人口の拡大 **育販**
 - ・大学連携（県立大学生延べ51人を受入）
 - ・こじゃんとゆり海道の開催（約1,400人）
- 地域おこし協力隊の任用 **伝**
 - ・2名の隊員による地域活動（どろんこ祭り参加・情報発信）

令和5年度

チーム結成・事業の継続

- 情報発信 **販**
 - ・里海かわら版発行・広報ボランティアとの連携・SNS（Instagram・X(旧ツイッター)・note・LINE）による発信
- 地域づくり担い手育成 **場販**
 - ・【人材掘り起こし】こうちみませ楽舎「通常教室」（1教室）の開校
 - ・【人材育成】プレミアムクラスの開校
 - ・特別教室「みませ楽舎塾」開催（18人）
- 交流人口・関係人口の拡大 **育販**
 - ・大学連携（県立大学生延べ50人を受入）
 - ・こじゃんとゆり海道開催（約1,000人）
- 地域おこし協力隊の任用（2年目） **伝**
- アイデア実現チーム「楽友会」結成
 - ・プレミアムクラス受講生を中心に13名程度で構成。御豊瀬小学校で「文化祭」開催



令和6年度の取組

- 情報発信 **販**
 - ・里海かわら版発行・広報ボランティアとの連携・SNS（Instagram・X(旧ツイッター)・note・LINE）発信
- 地域づくり担い手育成 **販場**
 - ・みませ楽舎の開校
 - 通常教室 これまでの受講生が講師となって、地域素材を活用した教室を開催（連続教室とせず、年間を通して気軽に参加できるものとする）
 - 特別教室 地域おこし協力隊による、これまでに培った地域住民とのつながりを生かした教室の開催

- 交流人口・関係人口の拡大 **育販**
 - ・大学連携（県立大及び高知大）
 - ・こじゃんとゆり海道の開催
- 地域おこし協力隊の任用（3年目） **巡伝**
 - ・集大成となる地域本の作成
- 「楽友会」（地域の活性化に取り組む任意組織）の支援 **販**

(3) 計画に基づく取組の評価・実績

方策	目標	取組事業	評価・実績	今後の展望
1 地域の「賑」わいあふれる 企画づくり	地域にある歴史・文化、伝統、自然などの資源を活用し、イベントの開催などPRを行い、地域のにぎわいを創出する。	1-1 「まち・歴史・文化」 を活かしたイベント 1-2 「自然」を 活かしたイベント	○ ・こじゃんとゆり海道の開催や「こうちみませ楽舎」の開校により、地域の賑わいを創出することができた。 ・地域おこし協力隊を中心に、地域の魅力などの情報発信を行い、各戸配布を通じて地域住民へ活動の周知を行った。 ・「こうちみませ楽舎」プレミアムクラス修了生から「こうちみませ楽舎楽友会」が発足。文化祭などを開催し、地域の賑わいを創出している。	・地域おこし協力隊が中心となり、「こうちみませ楽舎」の企画・運営を継続。あわせて楽友会への支援も継続し、引き続き地域のにぎわいを創出する。 ・こじゃんとゆり海道は地域主体での開催を目指して支援する。
2 地域の「食」を活かした 産業の活性化	魚、てんぷら、さつまいもなどの地元食材などの活用により、地域産業の掘り起こし、活性化を図る	2-1 農水産物等を 活かした食づくり	○ ・「こうちみませ楽舎」受講生から、地域ならではの食材や独自の食文化を掘り起こし、開発・活用・ブランド化することで地域おこしへつなげる活動(「ちいさめしプロジェクト」)が開始したほか、地域の特産品を使用した「元親武者ムシャバーガー」を開発し、イベントで販売することにより地元食材の活用、地域の活性化を図った。	・個人や地域団体に作成したレシピを提供し、地域のイベント等で販売してもらうことで、地域の「食」としての定着を図る。
3 地域を「巡」り 魅力を知ってもらう	地域を周遊してもらうことで、魅力を再発見し、地域に訪れる人の増加につなげる。	3-1 ウェルカムアート・案内板 ・地域ガイドの作成 3-2 気軽に周遊できる しくみづくり 3-3 ランニング・ウォーキング の推進 3-4 お遍路さんの支援	△ ・「こうちみませ楽舎」の教室で地域を周遊してもらうためのコースづくりに取り組んだが、マップの作成や周知には至っていない。 ・地域住民が休憩所を整備し、地域を訪れるお遍路さんへの支援を行ってはいるが、地域内を気軽に周遊できる仕組みづくりに至っていない。	・まち歩きルートや立ち寄りスポットを掲載した地域本(令和6年度に作成予定)を地域内外の観光地等で配付し、魅力を発信することで、3地域の周遊につなげる。
4 にぎわいと交流の 「場」づくり	地域住民が集い、交流が図れる場として、また、地域の観光資源として、観光客が訪れ、にぎわいと交流が生まれる場づくりを進める。	4-1 拠点を活かした にぎわいづくり 4-2 旧御畳瀬小学校 の利活用 4-3 多世代交流、スポーツ に親しむ場づくり 4-4 空き家の活用	○ ・地域おこし学校「こうちみませ楽舎」として旧御畳瀬小学校を活用。楽舎の教室開催、地域おこし協力隊常駐、楽友会の活動拠点として、また楽舎の特別教室として協力隊と地域、大学生が連携してイベントを開催するなど、地域住民が集い、交流が図れる場として活用されている。 ・民間企業によるグラウンド活用や、高知大学と楽友会によるモルックを使った地域活性化の取組が計画されるなど、地域外からも人が訪れ、にぎわいと交流が生まれる場としても認知されつつある。 ・「ふらっと浦戸」「コミュニティカフェみなや」など、地域住民主体での地域拠点も整備され、住民同士の交流の場となっている。	・地域おこし協力隊が中心となり、「こうちみませ楽舎」の企画・運営を継続し、にぎわいと交流の場として活用していく。 ・希望する住民や企業等に広く校舎を活用してもらえるような仕組みを検討し、旧御畳瀬小学校の利活用を推進する。
5 歴史と文化を「伝」え、 次代につなぐ	特色ある伝統行事やお祭りを子どもや若者に伝え、次世代に受け継ぐとともに、名所や史跡など地域の魅力を再認識し、郷土愛の醸成につなげる。	5-1 伝統行事や 祭りの継承・発展 5-2 歴史・文化財の 保護の推進	○ ・どろんこ祭りなどの各地域のイベントへの協力隊の参加、学生への参加呼びかけや、高知県立大学の地域学実習受け入れを通じて、特色ある伝統行事やお祭りの次世代への継承に取り組んだ。 ・楽舎の教室で、地域の歴史と文化を盛り込んだご当地カルタを制作し、カルタ大会などを通してPRすることで、地域の魅力を認識してもらうとともに郷土愛の醸成につなげた。	・各地域のイベントに継続して協力隊が参加することで、にぎわいにつなげる。 ・大学との連携(実習・ゼミの受入れやその他活動)を継続して、地域と大学をつなぐことで祭りの継承・発展に寄与する。
6 地域の愛着を「育」む ひとづくり	地域と地元保育園、小中学校、高校、大学等の連携により、地域に愛着を持った将来を担う人材を育成するとともに、若者目線による地域のファンを増やす。	6-1 地域のファンづくり 6-2 保小中高との連携	○ ・高知大学、高知県立大学の実習・ゼミを積極的に受け入れて地域での活動につなげ、地域のファンづくりに取り組んだ。 ・各地域で保小中高と連携して、どろんこ祭りや浦戸の拠点づくり、清掃活動等を実施することで地域に愛着を持つ人材の育成に取り組んでいる。	・大学との連携(実習・ゼミの受入れやその他活動)を継続して、地域と大学をつなぐことで、若者目線による地域のファンを増やす。

(4) 計画における目標の達成状況

① イベント、地域行事の参加者数

既存イベント、行事参加者数 6,850 人 → 【目標値(R6)】7,200 人

☆取組状況

	参考値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
どろんこ祭り	250	30	100	150	200	300
長宗我部祭り	4,000	中止	中止	中止	2,000	1,500 (雨天)
こじゃんと楽市	1,200	中止	中止	ゆり海道 道協同	ゆり海道 道協同	
みませ祭り	600	中止	中止	中止	800	
浦戸夏祭り	800	中止	中止	中止	270	380
地域協働イベント (こじゃんと！ゆり海道)		1,500 (曇り)	中止	1,400 (晴天)	1,000 (雨天)	
こうちみませ楽舎		46	45	64	106	
合計	6,850	1,576	145	1,614	4,376	

※令和2年度以降、イベントがコロナ禍のために中止・規模縮小開催されている。

←計画に基づく新たな取組による交流人口

●コロナ禍により、中止・規模縮小を余儀なくされたイベントが多く、現在も十分に人が戻ってきていない。

●目標値は達成できない見込みだが、「地域協働イベント」や「こうちみませ楽舎」といった、計画に基づく新たな取組が交流人口の拡大に寄与している。

② 情報発信

SNS 活用による積極的な情報発信、新たな広報手段の確立

→ 【目標値(R6)】新規広報媒体活用数4種類

☆取組状況

6種類の広報媒体により情報を発信

- ・高知市公式ホームページにイベントの広報や教室のレポート等を掲載。
- ・地域広報紙「新里海かわら版」を年3回程度発行。(現在vol.12まで発行済) 3地域を中心に1回に6,000部程度を配付。
- ・SNS(Instagram, X(旧Twitter), note, LINE)を活用し、イベント情報や地域の活動を発信。

●6種類の広報媒体を活用し、積極的な情報発信を行っている。

③ 公共交通

路線バス(桂浜線)利用者数 87,098 人(H30.10～R1.9) → 【目標値(R6)】91,000 人

MY遊バス利用者数 59,682 人(H28～H30 3か年平均) → 【目標値(R6)】62,400 人

☆取組状況

	参考値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
路線バス(桂浜線)利用者数	87,098 (H30.10～R1.9)	71,948	69,608	84,195	130,537	
MY遊バス利用者数	59,682 (H28～H30 3か年平均)	23,648	26,902	61,303	124,192	

●コロナ禍のため、R2・3年度と目標を下回ったが、インバウンドの回復やらんまん効果により交流人口は増加傾向にあり(MY遊バス増便)、目標は達成する見込み。

(5) 長浜・御畳瀬・浦戸地域の人口の推移と移住者数

◆人口の推移

◆人口

国勢調査によるデータ

	高知県	高知市	長浜 (全体)	長浜 (計画区域)	御畳瀬	浦戸
H22	764,456	343,393	27,759	10,330	400	1,046
H27	728,276	337,190	27,139	9,613	328	909
R2	691,527	326,545	25,564	8,759	277	787

住民基本台帳によるデータ（4月1日時点）

	高知県	高知市	長浜 (全体)	長浜 (計画区域)	御畳瀬	浦戸
R2	699,068	325,706	26,206	8,836	316	842
R6	659,592	314,116	24,725	8,267	249	746

◆人口減少率（R2.4月⇒R6.4月 住民基本台帳）

高知県	高知市	長浜 (全体)	長浜 (計画区域)	御畳瀬	浦戸
-5.6%	-3.6%	-5.7%	-6.4%	-21.2%	-11.4%

◆人口減少率（H27⇒R2 国勢調査）

高知県	高知市	長浜 (全体)	長浜 (計画区域)	御畳瀬	浦戸
-5.0%	-3.2%	-5.8%	-8.9%	-15.5%	-13.4%

※長浜（計画区域）は計画区域のH27⇒R2住民基本台帳10月現在比較

◆人口減少率（H22⇒H27 国勢調査）

高知県	高知市	長浜 (全体)	長浜 (計画区域)	御畳瀬	浦戸
-4.7%	-1.8%	-2.2%	-6.9%	-18.0%	-13.1%

※長浜（計画区域）は計画区域のH22⇒H27住民基本台帳10月現在比較

◆移住者数

長浜・御畳瀬・浦戸地域振興計画対象地域への移住者数
(転入者アンケートによる把握分のみ) (単位：人)

	長浜 (対象地域のみ)	御畳瀬	浦戸	計
H30	13			13
R1	5			5
R2	7			7
R3	8		3	11
R4	7			7
R5	12	1	1	14
R6	6	1		7
計	58	2	4	64

※令和6年9月26日時点

(6) 計画の総括と令和7年度以降の長浜・御畳瀬・浦戸地域の振興

計画の総括

- 「長浜・御畳瀬・浦戸地域振興計画」に基づき、地域の住民と行政の協働の下、様々な施策に取り組んできた結果、「こうちみませ楽舎」を中心とする人材育成や、地域協働イベント（こじゃんと！ゆり海道など）による交流人口の拡大、地域の活性化に取り組む任意組織（楽友会）の発足、地域おこし協力隊の活動、地域の拠点づくり（御畳瀬：旧御畳瀬小、コミュニティスペース「みなや」 浦戸：東南浦公民館）が進むなど、一定の成果が挙がる。
- しかしながら、長浜・御畳瀬・浦戸地域の人口減少に歯止めがかかっておらず、地域の活性化に向け、引き続き交流人口の拡大などに取り組む必要がある。

今後の方針

- 「長浜・御畳瀬・浦戸地域振興計画」は令和6年度で終了となるが、地域おこし協力隊を中心とする「こうちみませ楽舎」などの取組を継続していくことで、5年間の取組の成果を維持するとともに、更なる地域の活性化を図る。
- 計画に搭載するも実現に至らなかった取組や、新たな活性化策について、地域の皆さんと話し合いながら検討を進めていく。
- 令和7年度以降の取組については、「第3期高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けし、進捗状況の管理を行うこととする。

令和7年度以降の取組（案）

継続事業

- 情報発信
 - ・広報紙の発行と高知市公式ホームページ・SNS（Instagram・X(旧ツイッター)・note・LINE)での発信
- 地域づくり担い手育成
 - ・こうちみませ楽舎の開催
- 交流人口・関係人口の拡大
 - ・大学連携(県立大及び高知大)
 - ・こじゃんとゆり海道の開催(地域主体で開催するための支援)
- 地域おこし協力隊の任用
- 「こうちみませ楽舎楽友会」の活動支援

新規事業

- 地域プロジェクトマネージャーの導入
 - ・新たに長浜・御畳瀬・浦戸地域の振興を推進する「地域プロジェクトマネージャー」を雇用し、地域おこし協力隊の指導育成を担いながら、更なる活性化策等について地域の皆さんと検討を行う。

地域との連携

取組の推進に当たっては、地域の皆さんと行政の協働のもと一体となって進めるとともに、地域プロジェクトマネージャーを中心に、地域内連携協議会などの場において、今後の地域振興策等について検討を行う。

【参考】「第3期高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（2024年度～2028年度）の記載内容

⑩ 著しい少子高齢化への対応

⑩-1 地域特性を活かした地域づくり

KPI	基準値	目標値
高知市長浜・御畳瀬・浦戸地域振興計画で取り組む事業数	3事業／年 (令和4年度)	3事業／年 (令和10年度)

市内でも特に人口減少、少子・高齢化の著しい長浜・御畳瀬・浦戸地域において、人口減少への対応など地方創生に向けて「高知市長浜・御畳瀬・浦戸地域振興計画」に基づき、地域住民のほか産官学民と等の連携・協働により地域振興に取り組めます。

